

岡山労働学校之歌

乾坤震ふるの聲は

我筆が桂の響なり

げに尊としかの労働

永久に響かん此の力

前途左手に智識、右手に徳

立てる姿を君見ずや

大空小たる麗光に

立てる姿を、未見ぞや

新らしき世の礎を

築く真理の光を出

憧憧の眼を求めつ

小みわけ登る嶺の月

濁流の世は逆巻けど

憂公の闇は深けれど

曉つくる鐘の聲

一人世の朝ぼらけ